

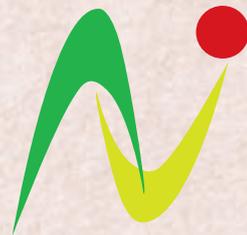
なかがわ

広報

2017. 9



町のイメージキャラクター
「なかちゃん」



No.144

- 新庁舎での業務開始のお知らせ 2
- 町職員の給与・定員管理を紹介します 4
- 農業委員会の制度が変わります
平成30年度「提案型補助金」を募集 6
- 国民健康保険制度が変わります 7
- 那珂川町長選挙のお知らせ 11



鮎とマスのつかみ取り



第144回

猫にまつわる読み物も多く、60編ほど執筆しています。
そのひとつ、『スイッチョねこ』は、やんちゃな子ねこ「白きち」のおはなしです。

白きちは、秋に鳴く虫に興味津々でした。「あんないい声をしているむしだもの。きっと食べてうまいにちがいないなあ。」

夜がふけてきたのでおかあさんと兄弟たちは家に帰りますが、白きちはひとり野原で虫をねらっていました。そのうち眠くなってきて、大きなあくびをしたとたんスイッチョが口に飛んできて思わず飲みこんでしまいます。

それからというもの、おなかの中からスイッチョの声。兄弟から「白くんがそばにいと、やかましくってねおれないう。あっちへいけよ。」となかまはずれにされてしまいます。その後、白きちとおなかのなかのスイッチョがどうなるかは、展覧会に来てみてのお楽しみ。

『スイッチョねこ』は、今なお愛されているロングセラーで、現在は画家・安泰の手による絵本が書店に並んでいますが、過去にはほかの画家もこの童話の絵を描いています。展覧会前期では、安泰、猪熊弦一郎、田中満の『スイッチョねこ』の原画を、後期は、朝倉摂の原画を展示します。同じ童話でも、絵が変わると物語のイメージも大きく違ってくることを実感できるでしょう。

9月24日(日)と11月11日(土)には図書館ボランティア「たまご」のおはなし会が美術館で行われます。『スイッチョねこ』のお話のほか、紙しばいなどもあり、小さなお子様から大人まで楽しめますので、お友達同士、ご家族でぜひ美術館にお出かけください。

馬頭広重美術館 主任学芸員 長井 裕子

秋季特別展

おさらぎじろう

大佛次郎生誕120年記念「大佛次郎と501匹のねこ」

「鞍馬天狗」、「パリ燃ゆ」、「天皇の世紀」などで知られる昭和の文豪・大佛次郎は、「猫は一生の伴侶」と語るほどの愛猫家で、いつも十数匹の猫に囲まれて生活をしていました。



「スイッチョねこ」 大佛次郎作・安泰画

【会期】 前期 9月15日(金)～10月22日(日)
後期 10月27日(金)～11月26日(日)

【開館時間】 午前9時30分～午後5時
(ただし入館は午後4時30分まで)

【ミュージアムトーク(展示解説)】

前期 9月16日(土)午後1時30分～ 当館学芸員
後期 10月28日(土)午後1時30分～ 当館学芸員

【図書館ボランティア「たまご」のおはなし会】

9月24日(日)、11月11日(土) 午後1時30分～
場所 美術館視聴覚研修室ギャラリー
※参加無料 ※定員 各回50名(要申し込み)

【講演会「作家・大佛次郎とねこ」】

10月15日(日) 午後1時30分～
場所 美術館視聴覚研修室ギャラリー
講師 大佛次郎記念館学芸員 金城 瑠以氏
※参加無料

【休館日】 月曜日(祝日は開館)、祝日の翌日

【入館料】 大人 700円(630円)
高・大学生 400円(360円)

※()は20名以上の団体料金

※中学生以下は無料

※障がい者手帳等をお持ちの方とその付き添い1名は半額



平成28年度

那珂川町観光写真コンテスト受賞作品

入選「お寺を守る地藏さん」

撮影者：山中 ヒロ子さん(宇都宮市)

撮影地：乾徳寺

